



若き心

集まるどころ

11月 (NO9)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 山口 茂

令和4年11月1日

「響け歌声」合唱コンクール

10月26日(水)に茅ヶ崎市民文化会館で合唱コンクールが行われました。

1年生の合唱はどのクラスも元気いっぱいな歌声で、聞いている私までうれしくなるような合唱でした。

7組の皆さんはハンドベルで、「私のお気に入り」と「エーデルワイス」の2曲を演奏してくれました。

横川先生の指揮のもと、息のあった演奏を聞かせてくれました。

2年生の合唱はどのクラスも完成度が高く、実力伯仲で審査するのがとても大変でした。1年生の時とは比べ物にならない合唱で、1年間の成長を垣間見ることができました。

3年生の部は、審査することができませんでした。なぜなら、スタートの3組からずっと感動しっぱなしだったからです。3組の「友～旅立ちの時～」は男子の歌声が素晴らしかったです。希望に向かって進んでいこうという気持ちがひしひしと伝わってくる合唱でした。1組の「手紙～拝啓十五の君へ～」はクラス全員でしっかりと強弱をつけた合唱でした。表情豊かに歌い上げた合唱に思わず涙ぐんでしまいました。4組の「群青」は歌詞の言葉を一つ一つ丁寧に歌っていて、情景が浮かび上がってくるような合唱でした。細かい部分にまで気持ちが行き届き、とてもまとまっていました。2組の「証」は女子の澄んだ歌声と男子の力強い歌声を上手に融合させた合唱でした。3年生の部の締めくくりにあふさわしい素敵なハーモニーでした。

3年全員合唱では「大地讃頌」を歌いました。始まりのチャイムと共に緞帳(ステージの幕)が上がりました。ステージ上には3年生全員が整然と並んでいて、その姿は圧巻でした。指揮者も伴奏者もそして歌っている3年生一人ひとりが輝いていました。中学校生活最後の行事で、学年全員で心を一つにして歌った「大地讃頌」。きっと、いつまでたっても色あせない素敵な思い出になったことでしょう。

生徒会本部役員が任命されました

後期の始業式の日には生徒会本部役員の任命式を行いました。

配付した学校便りには、生徒会本部役員の学年と名前が載っています。

1年間、鶴が台中学校の生徒会の代表として頑張ってください。

地区音楽会

10月8日(土)に茅ヶ崎市民文化会館の大ホールで第72回茅ヶ崎寒川地区音楽会が行われました。1年生から3年生まで吹奏楽部全員でステージに上がり「アナと雪の女王」を演奏しました。40人を超える大人数での演奏とは思えないくらい、息がそろっていてとても美しいサウンドの演奏でした。

弁論大会

10月15日(土)に茅ヶ崎市民文化会館の小ホールで英語弁論大会が行われました。3年生の女子が1名で鶴が台中学校の代表として英語弁論に挑戦しました。弁論の冒頭にミュージカル「ララランド」で使われた歌を英語で熱唱し、聴衆の心を鷲掴みにする素晴らしい弁論でした。

部活動の結果

【陸上競技】

10月8日(土)に柳島スポーツ公園周辺で「駅伝大会」が行われました。

男子は6人中5人が1年生のフレッシュなチームです。一人ひとり全力で走りましたが力及ばず14位でした。

女子は3年生中心のメンバーで全員安定した走りを見せ、見事5位に入賞することができました。3年生の選手の皆さんご苦労さまでした。

	男子	女子
1区	男子のメンバーの名前と学年が掲載され得いました。	女子のメンバーの名前と学年が掲載され得いました。
2区		
3区		
4区		
5区		
6区		

10月23日(日)に柳島スポーツ公園陸上競技場で茅ヶ崎市体育協会総合体育大会の陸上競技の部が開催されました。上位入賞者の記録等は右の通りです。

種目	名前	記録	順位
2年女子走幅跳		3m89	3位
1年女子100mH		20.78	3位
1年女子砲丸投		5m85	3位
1年男子走高跳		1m35	3位
1年男子砲丸投		6m20	3位

【野球】

西浜中学校との合同チームで出場した新人戦。初戦は、10月15日(土)に西浜中学校で北陽中と対戦し7-0でコールド勝ちしました。10月22日(土)には茅ヶ崎公園野球場で松林中と対戦し7-1で勝利し決勝戦に進みました。決勝戦の結果は12月号でお知らせします。

【サッカー】

10月22日(土)に西浜中学校で初戦が行われました。対戦相手は北陽中です。試合開始から全員で力を合わせて守備を固めていましたが、1点先制されてしまいました。その後、同点に追いつこうと攻めに転じましたが、そのカウンターをつかれ失点を続けてしまい、残念ながら初戦敗退となってしまいました。

【ソフトボール】

10月22(土)に市内大会が行われました。鶴が台中学校は萩園中学校と合同チームを組んでの出場です。初戦の対戦相手の北陽中には勝利をおさめましたが、続く梅田中と第一中の合同チームには接戦の末敗れてしまいました。

【剣道(男子)】

10月8日(土)に旭が丘中学校で個人戦と団体戦が行われました。

個人戦では、1年生ながら優勝した選手や3位に入賞した選手、4位に入賞した選手が湘南大会に勝ち進みました。団体戦では、浜須賀中に3-1、第一中に4-1と2連勝し決勝戦に挑みます。対戦相手は旭が丘中です。結果は代表戦までもつれ込む接戦でしたが、何とか粘り勝ち、見事優勝をすることができました。

10月16日(日)には鎌倉武道館で湘南大会が行われました。

個人戦では、出場した3人とも早い段階で敗れてしまいました。団体戦では予選トーナメントで横浜国大付属鎌倉中を4-1、六会中を2-1で破り決勝リーグへと進みます。決勝リーグでは藤沢第一中に2-3で敗れてしまいました。鎌倉学園中に2-2(本数勝ち)で勝利し、湘南大会2位で県大会に出場します。

【剣道(女子)】

10月8日(土)に旭が丘中学校で個人戦と団体戦が行われました。

個人戦では1年生1名がベスト8に入賞し敢闘賞を受賞しました。団体戦では、予選トーナメントの1回戦で鶴嶺中と対戦し2-3で敗れてしまいました。

【男子ソフトテニス】

10月9日(日)に滝の沢中学校で湘南大会の個人戦が行われました。2年生の1ペアが初戦は勝利しましたが2回戦で敗退してしまいました。

【女子ソフトテニス】

10月8日(土)に長後中学校で湘南大会の個人戦が行われました。出場した3ペアのうち、1ペアは1回戦で敗れてしまいましたが、2年生の1ペアが5位、もう一つのペアもベスト16で県大会に勝ち進みました。

10月15日(土)に高倉中学校で湘南大会の団体戦が行われました。初戦の高浜中に2-1で勝利し続く腰越中にも2-1で勝利しました。準決勝では寒川東中に1-2で敗れてしまいましたが3位決定戦で六会中に2-1で勝ち、湘南大会3位で県大会に出場します。

【女子バレーボール】

10月8日(土)に鶴が台中学校で順位決め大会が行われました。寒川東中に2-0、浜須賀中に2-1で勝利し予選リーグを1位で通過しました。翌9日(日)には鶴嶺中学校で予選リーグ1位の学校が集まり順位決定戦を行いました。結果は、鶴嶺中に1-2で敗れてしまいましたが、萩園中に2-0、第一中に2-0で勝利し、2位となりました。

10月16日(日)に第一中学校で本大会が行われ、梅田中に2-0、第一中に2-0で勝利して臨んだ決勝戦。残念ながら松林中に1-2で敗れてしまいましたが。地区大会で準優勝した誇りを胸に湘南大会でも頑張ってください。

【卓球(男子)】

10月9日(日)に茅ヶ崎市総合体育館で新人戦の団体戦が行われました。予選リーグで鶴嶺中に3-2、北陽中に3-0で勝利し、1位で決勝トーナメントに進みました。準決勝では萩園中に3-0で勝利し決勝で寒川東中に3-2で競り勝ち見事地区大会で優勝しました。湘南大会でも頑張ってください。

個人戦は同じ会場で10日(月)に行われました。2年生5名が湘南大会に出場します。(ベスト16に3名、ベスト32に2名)

また、1年生の1人の選手が1年生の部の個人戦で優勝し湘南大会に出場します。

【卓球(女子)】

10月9日(日)に茅ヶ崎市総合体育館で新人戦の団体戦が行われました。予選リーグの初戦で浜須賀中に2-3と敗れてしまいましたが、次の鶴嶺中に3-0で勝利し、2位で予選リーグを通過しました。決勝トーナメントでは、中島中に3-1で勝ちましたが、円蔵中に2-3で敗れてしまい順位決定戦にまわりました。そこで、萩園中に0-3で敗れてしまい、7位となり湘南大会に出場することはできませんでした。

翌10日(月)に行われた個人戦では、2年生がベスト16とベスト32に入り、この2名が湘南大会に出場します。

全国学力・学習状況調査のまとめ

【国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」などの「知識及び技能」並びに「思考力、判断力、表現力等」における「話すこと・聞くこと」の正答率が、神奈川県や全国の結果と比較してやや低い結果でした。とりわけ、「話の進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する」問題において、神奈川県の正答率と比較すると低い結果となっていました。これから「論理の展開などに注意して聞く」力が不十分であることが推測されます。

一方、「思考力、判断力、表現力等」における「読むこと」の正答率は、全国と比較してほぼ同一の結果でした。これから「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える」力や「場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する」力は、全国の中学生とほぼ同じであることが分かりました。

さらに、「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」における内容で、「行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する」問題では、神奈川県や全国と比較して、若干高い正答率でした。この結果から「行書の特徴を理解する」ことは定着していることが分かりました。

【数学】

全体的には、全国平均や神奈川県平均と比較して本校の正答率は、ほぼ同じ値になっています。全国学力・学習状況調査では「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2つの観点について調査しています。本校の生徒の平均値は、この2つの観点のどちらも全国平均や県平均とほぼ同じ正答率でした。このため本校の生徒

の特徴を知るために、評価の観点の内容をさらに細かく分けて分析し、本校の生徒の得意、不得意を考察することにします。

まず、「知識・技能」では、「数と式」において、二元一次方程式を理解しているかを見る問題や、思考の対象を明確にとらえることができるかについて問う問題では、全国平均や県平均を上回る結果となっています。また、「データの活用」では、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解しているかを見る問題の正答率は、全国平均や県平均を若干上回っています。

しかし、同じ「数と式」の自然数を素数の積で表す問題や「関数」の一次関数の変化の割合の意味を理解しているかを問う問題では、全国平均や県平均よりも正答率が低くなっていました。

「知識・技能」の観点では、授業や小テストなどで問題演習に取り組んできたことから、計算問題を解く力がついてきたと思われます。反面、基礎的な知識の定着が不十分であることもデータから分かりました。

次に「思考・判断・表現」の観点では、「図形」の筋道を立てて考え事象が成り立つ理由を説明する問題では、全国や県の平均を大きく上回る正答率でした。また、「データの活用」のデータの傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題でも全国平均や県平均を上回る正答率でした。

反対に、「数と式」の結論が成り立つための前提を考え新たな事象を見だし説明する問題や「関数」の事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明する問題などで全国平均を下回る正答率でした。

「思考・判断・表現」の観点は、ほぼすべての問題で記述式の解答が求められていました。今回の調査の結果から、数学的に思考し筋道を立てて説明することや数学的な用語を用いて説明する力がついてきていることがわかりますが、証明の問題や具体的な事象を数学的に考察する力が弱い傾向があることもわかりました。

【理科】

神奈川県や全国の結果と比較すると、本校の生徒の正答率は全体的にやや低いことがわかります。しかし、「エネルギー」を柱とする領域の「日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象」に関する問題では正答率が県や全国の平均よりも高く、また、「粒子」を柱とする領域の「液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象」に関する問題などもやや高い正答率でした。この結果から、身のまわりに起こる現象に関して興味を持って学習していることが読み取れ、その力が定着していると考えられます。

一方、「思考・判断・表現」の観点で、「上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する」などの問題は、神奈川県や全国と比較してやや低い正答率でした。また、「考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する」や「予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考える可能性について考え、実験操作や条件制御の不備の可能性を指摘する」など、記述式の問題でも正答率が若干低くなっています。これより、データなどを用いて推論したり、推測したことを記述して説明したりする力が不十分であることが分かりました。

【生徒質問紙】

本校では、毎日「朝の読書活動」を行っています。「授業以外に、普段本を30分以上読む」生徒の割合は半数以下でしたが、「読書は好きですか」の質問には、7割を超える生徒が肯定的な回答をしています。本校の生徒はゆっくり本を読む時間はないけれど、本を読むこと自体は嫌いではないことがわかります。

学校にタブレットが導入されて2年目になりますが、「調べ学習や意見交換に使用するか」の質問には「ほぼ毎日」と「週3日以上」と回答した生徒の割合が8割を超えています。また、タブレットの導入で、「学習の中でICT機器を使うことは勉強の役にたっている」に対しては、ほぼすべての生徒が肯定的な回答をしています。しかし「まとめや発表でタブレットを使用する」と回答した生徒の数は半数以下でした。

本校でおこなっている学びあいに関係する「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができているか」という質問では「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」と回答している生徒が約8割いることがわかりました。意見交換の時間をいろいろな場面で取り入れるなど、普段の授業の中での工夫がこの結果につながっていると思います。

「教科の勉強は好きですか」という問いに肯定的な回答をしている生徒の割合は、国語・数学・理科共に5割を超える程度でした。「将来、社会に出たとき役に立つと思いますか」という問いに肯定的な回答をしている生徒の割合は、数学と理科では6割程度でしたが、国語では9割に近くになっています。文を書くことや漢字の学習などが、日常生活に直接的に役に立つと考えて、このような回答になっていると思われます。